

第10期介護計画

中山間人口減少地域の計画は 給付・地域支援事業を見直し



やの しょうぞう
矢野 昭三 議員

【答】大西町長

中山間地域、人口減少地域での介護サービスはどう維持していくか国で検討しています。給付事業の中で人員配置の件、介護報酬の包括的な枠組み。中山間地域でのデイサービスが維持できない最大懸念が話し合われています。デイサービスこぶしが閉じた理由でもあります。閉鎖せざるを得ないその理由を分科会の方で話し合いして頂いており、制約が掛かるかも知れないような発言等もありますので、注視しながら訴え、政治力を使い影響も与えさせて頂きたいと思っています。

自分たちの地域で配置する給付事業、地域支援事業の全体の絵も少し見直してみたいと思います。



現行第9期計画

災害対策

伊与木川の中流域
対策は

個別の検討を進める

【問】

伊与木川の増水時に人家等の浸水対策のため、河川の土砂等を撤去しているが今年度以降、中流域の対策。又、砂防工事、急傾斜地崩壊対策工事等どの様に取り組むか問います。

【答】深木建設課長

小黒ノ川の河川断面拡幅、護岸補強、一部堆積土砂撤去。藤縄の堰の改修は県に要望をしましたが更に検討します。又、概ね5年ごとに調査、地形改変箇所等において見直しを実施。急傾斜地崩壊対策工事は個人負担がある為要望に基づき取り組んでいました。今後は住民への周知方法について検討します。



小黒ノ川河川改修計画

町道安全対策

地域の方に委託は

委託を検討する

【問】

町道の法面保護工事を未了のため落石によるタイヤ破損事例がある。落石撤去作業を地域の方に委託できないか。又、荷鈴線は南海トラフ地震ある時の避難道路、落石により車の故障があるため、法面等があるため、改善の取り組みを問います。

【答】深木建設課長

町道の草刈29地区、土砂撤去1地区と委託契約している。地域の状況等見ながら検討します。又、荷鈴線は改良計画があり本年度測量、来年度用地買収、順次工事をする予定です。



荷鈴線国有林内